

地震

■ 緊急地震速報

緊急地震速報とは、地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データを解析して震源や規模（マグニチュード）を直ちに推定し、各地での主要動の到達時刻や震度を予測し、可能な限り素早く知らせる地震動の予報・警報です。震度5弱以上の揺れが予想されるときに、テレビ・ラジオ・携帯電話などで情報が入手できます。

■ 震度と揺れなどの状況

震度0

- ・人は揺れを感じない

震度1

- ・屋内で静にしている人の中には揺れをわずかに感じる人がいる

震度2

- ・屋内で静にしている人の大半が揺れを感じる

震度3

- ・屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる

震度4

- ・ほとんどの人が驚く
- ・電灯などのつり下げ物が、大きく揺れる
- ・座りの悪い置き物が、倒れることがある

震度5弱

- ・大半の人は恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる
- ・棚にある食器や書類が落ちたり、固定していない家具が移動・転倒することがある

震度5強

- ・物につかまらなると歩くことが難しい
- ・棚にある食器や書類でおちるものが多くなる
- ・固定していない家具が転倒することがある
- ・補強されていないブロック塀が崩れることがある

震度6弱

- ・立っていることが困難になる
- ・ドアが開かなくなることがある
- ・壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある
- ・耐震性の低い木造建物は、倒れるものもある

震度6強

- ・はわないと動くことができない
- ・固定していない家具は倒れるものが多くなる
- ・耐震性の低い木造建物は、倒れるものが多くなる
- ・大規模な地すべりやがけ崩れが発生することがある

震度7

- ・耐震性の低い木造建物は、倒れるものがさらに多くなる
- ・耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある
- ・耐震性の低い鉄筋コンクリート造建物でも倒れるものがある

■ 地震への備え（家具転倒防止）

気象庁によると、震度5でタンスなどの家具が転倒、テレビ台からテレビが落ちることも想定されています。家具は、固定金具や耐震粘着マットなどを利用した対策をしましょう。

タンス・本棚

L字金具や突っ張り棒タイプのものなどで固定。二段重ねの家具は、つなぎ目も金具で連結しましょう。



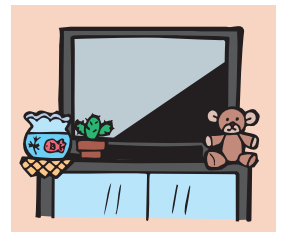
食器棚

扉が開かないように留め金具をつける。棚板には食器類の落下を防ぐ滑り止めシートなどを敷きましょう。



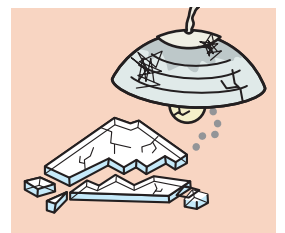
テレビ

低い位置に設置しましょう。テレビ台の上に水槽や花瓶などは置かないようにしましょう。



照明器具・窓ガラス

照明器具の落下を防ぐために金具などで補強しましょう。ガラスの飛散を防ぐため飛散防止フィルムを張りましょう。



倒れやすい家具などは、人の出入りが少ない部屋にまとめて置きましょう。無理な場合は、少しでも安全なスペースが確保できるように、家具の配置換えをしましょう。

就寝中に地震に襲われたとき、倒れやすい家具があると危険なため、寝室には家具を置かないようにしましょう。

安全に避難ができる通路を確保するために、出入口や通路には物を置かないようにしましょう。

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害発生の危険度が高まったとき、市長が避難勧告を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、北海道と札幌管区気象台が共同で発表する防災情報です。

■ 土砂災害警戒情報が発表されたら

- ・ 斜面の状況には常に注意を払う
- ・ 普段とは異なる状況に気づいたら直ちに周りの人と安全な場所に避難する
- ・ 市役所や消防署に連絡する

■ 普段と異なる状況とは～土砂災害前兆現象

| | がけ崩れ | 地すべり | 土石流 |
|----------------|--|--|---|
| 土砂災害の種類 |  |  |  |
| 特徴 | 斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等で緩み突然、崩れ落ちる現象。崩れ落ちるまでの時間がごく短いため、人家の近くでは逃げ遅れも発生し、人命を奪うことが多い。 | 斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象。土塊の移動量が大きいため甚大な被害が発生する。 | 山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流への押し流される現象。時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家などを破壊する。 |
| 主な前兆現象 | <ul style="list-style-type: none"> ・ がけにひび割れができる ・ 小石がパラパラと落ちる ・ がけから水が湧き出る ・ 湧き水が止まる・濁る ・ 地鳴りがする | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地面にひび割れ・陥没 ・ 斜面から水が噴出する ・ 井戸や沢の水が濁る ・ 地鳴り・山鳴りがする ・ 樹木が傾く ・ 亀裂や段差が発生 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 山鳴りがする ・ 急に川の水が濁り、流木が混ざり始める ・ 降雨が続くのに川の水位が下がる ・ 立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる |

災害時の安否確認

災害発生時には、NTTの「災害用伝言ダイヤル」が稼働します。事前の契約は不要で、家族や友人などが被災した場合の安否確認に活用できます。

災害用伝言ダイヤル「171」の利用手順

171 にダイヤル

ガイダンスが流れます

伝言を登録するとき **1**

伝言を再生するとき **2**

被災地の方は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の人の電話番号を市外局番からダイヤル（ガイダンスどおりに伝言の録音・再生を行う）

携帯電話災害用伝言板（文字）の利用手順

携帯各社のトップメニューから

災害用伝言板を開く

伝言（文字）を登録
「登録」を選択して
伝言（文字）を入力。

伝言（文字）を確認
「確認」を選択して
伝言（文字）を見る。

避難情報

| 発令種類 | 発令時の状況 | とるべき行動 |
|------|---|--|
| 準備情報 | 避難行動要支援者など、特に避難行動に時間を要する人が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況 | 避難行動要支援者など、特に避難行動に時間を要する人は、計画された避難所への避難行動を開始。その他の人は避難準備を開始 |
| 避難勧告 | 通常の避難行動ができる人が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況 | 通常の避難行動ができる人は、計画された避難所などへの避難行動を開始 |
| 避難指示 | 前兆現象の発生や現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 | 避難中の住民は確実な避難行動を直ちに完了（避難していない住民は避難できる状況かを判断し、安全な屋内への待避も検討） |

防災情報入手先

| | | |
|-------------|--------------|--|
| 札幌管区気象台 | 天気予報・気象情報など | http://www.jma-net.go.jp/Sapporo/ |
| 国土交通省川の防災情報 | 空知川水位・赤平市降雨量 | http://www.river.go.jp/81.html |
| 空知川赤平水位観測所 | 空知川水位 | 0125-32-3759 |
| 北海道防災情報 | 災害情報・避難情報など | http://www.bousai-hokkaido.jp/ |
| 赤平市 | 災害全般情報など | 0125-32-2211 http://www.city.akabira.hokkaido.jp/ |

災害への備え

■ 備蓄について

赤平市では、大規模災害に備えて、次のとおり備蓄を行っております。（赤平市耐震改修促進計画によると大地震が起きたときの建物全半壊割合が約19パーセントであることから、市内総人口の15パーセントにあたる約2,400人分の備蓄を計画しています。不足分は、市内業者との協定による、または市民の皆さんの個人による備蓄を期待しています。）

■ 食糧・水

3日間分（1日2食）の食糧を備蓄しています。調理が不要な非常食で、アレルギーの方も食べられる非常食も備えています。赤ちゃんの粉ミルクも備蓄しています。一般の成人で1日に約3ℓの水が必要といわれておりますので、ペットボトル（2ℓ・500ml）飲料水を備蓄しています。

■ その他の備蓄品

毛布、ストーブ、やかん、哺乳瓶、発電機などの避難生活に欠かせない必要最低限の備蓄品を整備しています。

■ ご家庭での備え

大規模災害時にライフラインが途絶したような場合には、被災者全員に地震直後から食糧、飲料水その他必需品の供給ができないことが予想されます。このような場合に備え、普段から家庭内で、飲料水や缶詰、身の回りの日用品を備蓄し、災害発生から3日間は家庭内備蓄で対応できるようにしておきましょう。

このような備蓄品（非常持出品）があると安心です。

| 携帯ラジオ | 懐中電灯 | 非常食・水 | サバイバルツール | 救急用品 | 現金・貴重品 |
|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |
| FM付がよい 予備電池 | 予備電池 | 3日間分 | 缶切り ナイフなど | 消毒液、包帯、 絆創膏(ばんそうこう)など | 保険証、通帳、 印鑑、免許証 |

風水害

■ 集中豪雨

集中豪雨とは、「狭い範囲に数時間にわたり、100ミリから数百ミリと強い雨量をもたらす雨」のことです。積乱雲が同じ場所で次々と発生・発達を繰り返すことにより起き、重大な土砂災害や浸水などの災害を引き起こす可能性があります。

集中豪雨は、次のようなときに発生しやすくなります。

- ・北海道付近に前線が停滞しているとき
- ・台風が北海道に接近または上陸したとき
- ・大気的不安定な状況が続き、次々と雷雲が発生するとき

■ 台風

熱帯の海上で発生する低気圧を熱帯低気圧と呼びますが、このうち北西太平洋または南シナ海で発達して、低気圧域内の最大風速（10分間平均）がおよそ17m/s（34ノット、風力8）以上のものを「台風」と呼びます。

■ 注意報・警報

| | 注意報 | 警報 | 特別警報 |
|-------------|---------------------------|---------------------------------------|---------------|
| 大雨 | 1時間雨量 25ミリ 土壌雨量指数 91 | (浸水害) 1時間雨量 50ミリ (土砂災害) 土壌雨量指数 123 | 数十年に1回の大雨 |
| 洪水 | 基準なし | 基準なし | 基準なし |
| 暴風 (強風) | 平均風速 12m/s | 平均風速 18m/s | 数十年に1回の暴風 |
| 大雪 | 12時間降雪 30センチ | 12時間降雪 50センチ | 数十年に1回の大雪 |
| 暴風雪 (風雪) | 平均風速10m/sで 雪による視程障害を伴う | 平均風速16m/sで 雪による視程障害を伴う | 数十年に1回の雪を伴う暴風 |

■ 雨の降り具合と危険度

| 1時間雨量 | 予報用語 | 雨の様子 |
|---------|---------|---|
| 10～20ミリ | やや強い雨 | ザーザーと降る |
| 20～30ミリ | 強い雨 | 土砂降りの雨 |
| 30～50ミリ | 激しい雨 | バケツをひっくり返したような雨。雨音で話し声がよく聞き取れないくらいの状態。道路が川のようになる。 |
| 50～80ミリ | 非常に激しい雨 | 滝のように降る雨。傘を差しても全く役に立たない。災害発生の危険がある。 |
| 80ミリ以上 | 猛烈な雨 | 圧迫感があり、恐怖を感じるような雨。大規模な災害発生の危険がある。 |



■ 風の強さにより想定される被害

| 平均風速 (m/s) | 予報用語 | 想定される状況/被害 |
|------------|--------|---|
| 10～15m/s | やや強い風 | 風に向かって歩きにくくなる。傘が差せない。取り付けが不完全な看板が飛び始める。 |
| 15～20m/s | 強い風 | 風に向かって歩けない。転倒する人もいる。ビニールハウスが倒れ始める。 |
| 20～25m/s | 非常に強い風 | しっかりと身体を確保しないと転倒する。鉄製シャッターが壊れ始める。風で飛ばされたもので窓ガラスが割れる。 |
| 25～30m/s | | 屋外での行動は危険。立ってられない。ブロック塀が壊れる。取り付けの不完全な屋外外装材がはがれ、飛び始める。 |
| 30m/s以上 | 猛烈な風 | 屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始まる |

